

# 介護保険事業者 指定基準と報酬体系

## (介護予防)訪問入浴介護

令和元年度  
新規(更新)指定介護保険事業者研修

### 【目次】

- 1 訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）とは……………P 1
- 2 人員基準……………P 2
- 3 設備基準……………P 2
- 4 運営基準……………P 2
- 5 加算及び減算について……………P 7
- 6 自主点検調査……………P 16

### 【基準・解釈通知一覧】

項目	種類	名称	凡例
人員・設備・運営	基準省令	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 (平成 11 年厚生省令第 37 号)	居宅基準
		指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準 (平成 18 年厚生省令第 35 号)	予防基準
	解釈通知	指定居宅サービス等及び指定介護予防サービス等に関する基準について (平成 11 年老企第 25 号)	基準解釈通知
介護報酬の算定	基準省令	指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準 (平成 12 年厚生省告示第 19 号)	居宅算定基準
		指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準 (平成 18 年厚生省告示第 127 号)	予防算定基準
	解釈通知	指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（訪問通所サービス、居宅療養管理指導及び福祉用具貸与に係る部分）及び指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準に伴う実施上の留意事項について (平成 12 年老企第 36 号)	居宅算定基準 留意事項
		指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について (平成 12 年老計第 0317001 号)	予防算定基準 留意事項

## 1 訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）とは

- 介護保険における訪問入浴介護とは、要介護者に対し、その居宅を訪問し浴槽を提供して行う  
　　・ 入浴の介護をいう。  
　　この法律において「訪問入浴介護」とは、居宅要介護者について、その者の居宅を訪問し、浴槽を提供して行われる入浴の介護をいう。

介護保険法第 8 条第 3 項

- 介護保険における介護予防訪問入浴介護とは、介護予防を目的として、要支援者に対し、その居宅を訪問し浴槽を提供して行う入浴の介護をいう。  
　　この法律において「介護予防訪問入浴介護」とは、居宅要支援者について、その介護予防を目的として、厚生労働省令で定める場合に、その者の居宅を訪問し、厚生労働省令で定める期間にわたり浴槽を提供して行われる入浴の介護をいう。

介護保険法第 8 条の 2 第 2 項

- \* 「厚生労働省で定める場合」とは?  
　　→ 疾病その他のやむを得ない理由により入浴の介護が必要なとき（法施行規則第 2 条の 4）
- \* 「厚生労働省で定める期間」とは?  
　　→ 居宅要支援者ごとに定める介護予防サービス計画において定めた期間（法施行規則第 22 条の 2）

## 【事業所指定の単位】

- 事業所指定は原則としてサービス提供の拠点ごとに受けれる必要がある。  
　　○ 例外的な位置付けである出張所（サテライト事業所）設置が認められるかどうかは、個別判断となる。  
　　事業者の指定は、原則としてサービス提供の拠点ごとに行うものとするが、地域の実情等を踏まえ、サービス提供体制の面的な整備、効率的な事業実施の観点から本体の事業所とは別にサービス提供等を行う出張所等であって、次の要件を満たすものについては、一体的なサービス提供の単位として「事業所」に含めて指定することができる取扱いとする。なお、この取扱いについては、同一法人にのみ認められる。  
① 利用申込みに係る調整、サービス提供状況の把握、職員に対する技術指導等が一体的に行われるること。  
② 職員の勤務体制、勤務内容等が一元的に管理されること。必要な場合に随時、主たる事業所や他の出張所等との間で相互支援が行える体制（例えば、当該出張所等の従業者が急病等でサービスの提供ができなくなってしまった場合に、主たる事業所から急遽代替要員を派遣できるような体制）にあること。  
③ 苦情処理や損害賠償等に際して、一体的な対応ができる体制にあること。  
④ 事業の目的や運営方針、営業日や営業時間、利用料等を定める同一の運営規程が定められていること。  
⑤ 人事、給与・福利厚生等の勤務条件等による職員管理が一元的に行われるること。

基準解釈通知

## 2 人員基準

職種名	資格要件	配置要件
管理者	特になし	・ 常勤職員であること。 ※ 管理者の業務に支障がない場合は、当該訪問入浴介護事業所の他の職務又は同一敷地内の他事業所等の職務と兼務可。ただし、併設の入所施設において入所者に対しサービス提供を行う看護・介護職員との兼務はできない。
看護職員	看護師、准看護師	1以上 ▽ 看護職員又は介護職員のうち 1 名は常勤でなければならない。
介護職員	特になし	2以上 ▽ 介護職員との兼務はできない。

## 3 設備基準

### 【概要】

種別	内 容
専用の事務室及び 区画	・ 事業運営に必要な面積を有すること。 ・ 専用が望ましいが、間仕切り等で明確に区分される場合は、他の事業同一の事務室でも差し支えない（区分がされなくても業務に支障がないときは、指定訪問介護の事業を行ったための区画が明確に特定されていれば足りる。）
設備・備品等	・ 利用申込の受付、相談等に対応するのに適切なスペースを確保する。 ・ 浴槽等の備品・設備等を保管するために必要なスペースを確保する。 ・ 浴槽（身体の不自由な者が入浴するのに適したものの） ・ 車両（浴槽を運搬し又は入浴設備を備えたもの） ・ 感染症予防に必要な設備等
*	＊ 互いの運営に支障がない場合は、同一敷地内の他の事業所、施設等に備え付けられた設備及び備品等を使用することができます。

## 4 運営基準

### 【概要】

○ 利用料等の受領	居宅基準第 48 条
○ 利用料等の受領	通常の利用料のほか、次の費用の支払いを受けることができる。 ・ 通常の事業の実施地域以外の地域の居宅において指定訪問入浴介護を行う場合に要する交通費 ・ 利用者の選定により提供される特別な浴槽水等に係る費用
【Q】	訪問入浴介護サービスにおいて、当該サービスで使用する、湯、石鹼、タオル、シャンプー等必要とするものは、事業者が用意すべきものと考へるがいかがでしょうか。 【A】 基準省令第 37 号第 48 条参照の上、記載されていない事項については、事業者の負担である。 WAM-NET Q&A

2

<p>○ <b>取扱方針 居宅基準第 50 条</b></p> <p>* 訪問するスタッフ（1回の訪問につき） 訪問入浴介護 → 看護職員 1名 + 介護職員 2名 介護予防訪問入浴介護 → 看護職員 1名 + 介護職員 1名 ※予防算定基準</p> <p>* 上記スタッフのうち 1 名をサービス提供の責任者とする。 → 入浴介護に關する知識や技術を有したものであつて、衛生管理や入浴サービスの提供に当たつて他の従業者に対する指導を行うとともに、利用者が安心してサービス提供を受けられるよう配慮すること。</p> <p>* 利用者の身体の状況が安定していること等から、入浴により利用者の身体の状況等に支障を生ずるおそれがないと認められる場合には、主治の医師の意見を確認した上で、看護職員に代えて介護職員を充てができる（この場合、料金を 100 分の 95 に減算して請求する。） → 次に確認すべき時期についても利用者の主治医に確認しておくこと。</p> <p>* サービスの提供に用いる消耗品、器具その他の用品については、サービスの提供ごとに消毒したものを使う。 → 治療など利用者の身体に直接接触する設備・器具類は、利用者 1 人ごとに消毒した清潔なものを利用し、使用後に洗浄及び消毒を行うこと。また、保管にあたっても清潔保持に留意すること。</p> <p>* 特に利用者の身体に接触する設備、器具その他の用品については、サービスの提供ごとに消毒したものを使う。 → 治療など利用者の身体に直接接触する設備・器具類は、利用者 1 人ごとに取り替えるか個人専用のものを利用する等、安全清潔なものを使用すること。</p> <p>* 消毒方法等についてマニュアルを作成するなど、当該従業者に周知させること。</p>	<p>○ <b>緊急時等の対応 居宅基準第 51 条</b></p> <p>指定訪問入浴介護の提供を行つているときに利用者に病状の変化が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治の医師又はあらかじめ当該指定訪問入浴介護事業者が定めた協力医療機関への連絡を行ふ等の必要な措置を講じなければならない。</p> <p>→ 協力医療機関については次の点に留意。 ① 通常の事業実施地域内にあることが望ましい。 ② 田舎な協力を得るために、あらかじめ必要な事項を取り決めておくこと。</p>	<p>○ <b>重要事項を説明し、利用者の同意を得なければならない 居宅基準第 8 条</b></p> <p>介護保険のサービスは、利用者及びその家族に十分な説明を行い、重要事項を記載した文書（重 要事項説明書）を交付し、文書による同意を得たうえで開始すること ～重要事項説明書に記載すべき事項～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 運営規程の概要</li> <li>② 当該訪問入浴介護従事者の勤務体制</li> <li>③ 事故発生時の対応</li> <li>④ 苦情処理の体制</li> <li>⑤ 提供するサービスの第三者評価の状況（実施の有無、直近の実施年月日、評価結果の開示実績）</li> <li>⑥ その他（秘密保持、衛生管理など）</li> </ul>
<p>○ <b>正当な理由なくサービス提供を拒否してはならない 居宅基準第 9 条</b></p> <p>正当な理由なく指定訪問入浴介護の提供を拒否してはならず、特に、要介護度や所得の多寡を理由に拒否してはならない。 ～正当な理由の例～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業所の現員では対応しきれない。</li> <li>② 利用申込者の居住地が通常の事業の実施地域外である。</li> <li>③ その他適切な指定訪問入浴介護を提供することが困難である。</li> </ul> <p>○ <b>ケアプランに沿ったサービスを提供しなければならない 居宅基準第 16 条</b></p> <p>指定訪問入浴介護事業者は、居宅サービス計画（施行規則第 61 条第一号ハ及びニ）に規定する計画を含む。以下同じ。）が作成されている場合は、当該計画に沿つた指定訪問入浴介護を提供しなければならない。 ※「施行規則第 64 条第一号ハ及びニ」に規定する計画」とは、小規模多機能型居宅介護事業所で作成した居宅サービス計画（ハ）及び被保険者（利用者）が自分で作成し、市町村に届け出た計画（ニ）をいう。</p> <p>○ <b>サービス提供時には、職員証事を携行しなければならない 居宅基準第 18 条</b></p> <p>従業者に職員証や名札等を携行させ、利用者又はその家族から求められたときはこれを提示しなければならない。この職員証等には、当該指定訪問入浴介護事業所の名称、当該訪問入浴介護従業者の写真の貼付や職能の記載を行なうことが望ましい。</p> <p>○ <b>サービス提供等の記録を行わなければならない 居宅基準第 19 条</b></p> <p>提供日、内容、保険給付の額その他必要な事項を利用者の居宅サービス計画の書面又はサービス利用票等に記載しなければならない。 また、サービス事業者間の密接な連携等を図るため、利用者からの申出があつた場合には、文書の交付その他適切な方法（利用者の手帳等に記載するなど）により、その情報を利用者に対して提供しなければならない。</p>	<p>～提供了具体的なサービスの内容の記録の重要性～</p> <p>(1) <b>利用者に対するサービスの質の向上に繋がること</b> 基準上「提供了具体的なサービスの内容」「利用者の心身の状況」「その他必要な事項」を記録することとされており、これらも含めて記録すること（單にあらかじめ用意した分類項目にチェックするだけの記録のみでは不適当） 趣旨は次のとおり。</p> <p>(2) <b>サービス内容や報酬請求が適正であることを証明する重要な資料であること</b> 提供しているサービスが利用者の課題解決につながっているか、自立支援のために真正に必要なサービスであるかどうか等を、管理者及び連携する居宅介護支援事業所等に把握できるような記録とすることにより、利用者に対するサービスの質の向上に繋げる必要がある。</p> <p>(2) <b>サービス内容や報酬請求が適正であることを証明する重要な資料であること</b> 事業者には、サービス内容や報酬請求が適正であることを保険者や県に対し証明する責任がある。 このための証拠として、提供了具体的なサービスの内容の記録が重要となる。</p>	<p>4</p>

## ○ 領収証を交付しなければならない 介護保険法第 41 条第 8 項

○ 指定居宅サービス事業者は、指定居宅サービスその他のサービスの提供に要した費用につき、その支払を受ける際、当該支払をした居宅を介護被保険者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、領収証を交付しなければならない。  
介護保険法第 41 条第 8 項

指定居宅サービス事業者は、法第四十一条第八項の規定により交付しなければならない領収証に、  
、指定居宅サービスについて居宅を介護被保険者から支払を受けた費用の額のうち、同条第四項第一号又は第二号に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額（その額が現に当該  
指定居宅サービスに要した費用の額を超えるときは、当該現に指定居宅サービスの費用の額に係るもの並びにその他の費用  
との額を区分して記載し、当該その他の費用の額についてはそれぞれ個別の費用ごとに区分して記  
載しなければならない。

### ～領収証の取扱い～

- ・ 利用回数、費用区分等を明確にすること
- ・ 口座引き落としの場合にも必要
- ・ 利用料が医療費控除の対象となる場合もあたため、医療費控除が受けられる領収書を発行する  
必要がある  
→「介護保険制度下での居宅サービス等の対価に係る医療費控除の取扱いについて」（平成 28 年 10  
月 3 日厚生労働省老健局総務課事務連絡）参照

## ○ 重要事項を掲示しなければならない 居宅基準第 32 条

○ 指定居宅サービス事業者の勤務体制その他の利用申込者のサービス選択に資するとの認められたる重  
要事項を、事業所内の見やすい場所に掲示しなければならない。

### ○ 利用者の秘密を保持しなければならない 居宅基準第 33 条

- ・① 事業者は、正当な理由なく、業務上知り得た利用者又は家族の秘密を漏らしてはならない。ま  
た、事業者は、従業者が退職した後も、秘密保持を図るよう必要な措置を講じな  
ければならない。
- ② サービス担当者会議等において、課題分析等のために利用者及びその家族の個人情報を用いる  
場合には、あらかじめ文書による同意を得ておかなければならぬ。この同意は、契約時に利  
用者及び家族から包括的な同意を得ておくことである。

### ○ 記録を整備しなければならない 居宅基準第 63 条の 2

○ 事業者は、従業者、設備、備品及び会計に関する諸記録を整備しておかなければならぬ。また、  
サービス提供に関する次に掲げる記録を整備し、サービスを提供した日から 5 年間保存しなけれ  
ばならない。

- ① 第 19 条第 2 項に規定する提供した具体的なサービス内容等の記録
- ② 第 26 条に規定する市町村への通知に係る記録
- ③ 第 36 条第 2 項に規定する苦情の内容等の記録
- ④ 第 37 条第 2 項に規定する事故の状況及び事故に際して採った処置についての記録

### ○ 管理者等は、定められた責務を果たさなければならぬ 居宅基準第 52 条

- ① 管理者の責務
- ・ 事業者及び業務の実施状況の把握その他の一元的管理
- ・ 利用の申込みに係る調整
- ・ 従業者に運営基準を遵守させるための指揮命令

### ○ 事業所ごとに勤務体制を定め、サービスを提供しなければならない 居宅基準第 30 条

- ① 原則として月ごとの勤務表を作成し、日々の勤務体制を明確にすること。  
～勤務表に記載すべき事項～
- ・ 日々の勤務時間
- ・ 職務の内容
- ・ 常勤・非常勤の別
- ・ 管理者との兼務關係 等
- ② 雇用契約、労働者派遣法に規定する労働者派遣契約その他の契約により、当該事業所の指揮管  
理下にある訪問入浴介護従業者によりサービスを提供すること。
- ③ 訪問入浴介護従業者の質の向上を図るため、研修機関が実施する研修や当該事業所内の研修へ  
の参加の機会を計画的に確保すること。

## 5 加算及び減算について

### 【概要】

介護職員 3 名（予防の場合） （看護職員が含まれない場合） 所定単位数の 95/100	利用者の身体の状況が安定していること等から、入浴により利用者の身体の状況等に支障を生ずるおそれがないと認められる場合、主治の医師の意見を確認した上で行うこと。 上記の利用者には、3 名（予防の場合 2 名）のうち看護職員が含まれている体制で対応した場合にも基本単位の 95 / 100 を算定する。	部分浴とは、洗髪、陰部、足部等の洗浄をいう。
特別地域訪問入浴介護加算 所定単位数 +15/100	事業所と同一の敷地内又は隣接する敷地内の建物若しくは事業所と同一建物に居住する利用者にはサービス提供する場合は、所定単位数の 90% を算定する。（②に該当する場合を除く。） ① の建物のうち、当該建物に居住する利用者の人数が 1 月あたり 50 人以上の場合はサービスを提供する場合は、所定単位数の 85% を算定する。 ③ 事業所における 1 月当たりの利用者が同一建物に 20 人以上居住する場合は、所定単位数の 90% を算定する。	① 事業所と同一の敷地内又は隣接する敷地内の建物若しくは事業所と同一建物に居住する利用者にはサービス提供する場合は、所定単位数の 90% を算定する。（②に該当する場合を除く。） ② の建物のうち、当該建物に居住する利用者の人数が 1 月あたり 50 人以上の場合はサービスを提供する場合は、所定単位数の 85% を算定する。 ③ 事業所における 1 月当たりの利用者が同一建物に 20 人以上居住する場合は、所定単位数の 90% を算定する。
中山間地域等における小規模事業所加算 所定単位数 +10/100	「厚生労働大臣が定める地域」に存在する地域に所在する指定訪問入浴介護事業所の訪問入浴介護従業者が、指定訪問入浴介護を行った場合に算定する。	以下 の（1）及び（2）の要件に該当する場合は、1 回につき所定単位数の 100 分の 10 に相当する単位数を所定単位数に加算する。 （1）事業所が「厚生労働大臣が定める地域」に所在すること（特別地域加算の対象地域を除く。） （2）延訪問回数が 20 回以下/月（介護予防訪問入浴介護は延訪問回数が 5 回以下/月）の事業所であること。 「厚生労働大臣が定める地域」に居住する利用者に対し、通常の事業の実施地域を越えてサービスを提供する場合は、1 回につき所定単位の 100 分の 5 に相当する単位数を所定単位数に加算する。 ⇒ 「通常の事業の実施地域」とは、事業所の運営規定に定める「通常の事業の実施地域」。この加算を算定する場合、通常の事業の実施地域を越えた場合の交通費は徴収不可。

サービス提供体制強化加算 (1) イ + 3 6 単位 (1) ロ + 2 4 単位 (1回につき)	別に厚生労働大臣が定める基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た指定訪問入浴介護事業所が、利用者に対し、指定訪問入浴介護を行った場合は、1 回につき所定単位数を加算する。
介護職員処遇改善加算 (1) :各種加算減算を加えて算定した単位数の 58/1000 (II) :各種加算減算を加えて算定した単位数の 42 / 1000 (III) :各種加算減算を加えて算定した単位数の 23/1000 (IV) : (II) の 90% (V) : (III) の 80%	別に厚生労働大臣が定める基準に適合している介護職員の賃金の改善等を実施しているものとして都道府県知事に届け出た事業所が指定訪問入浴介護を行った場合に算定できる。 ※(1)、(II) 及び (III) については、平成 33 年 3 月 31 日までの間、(IV) 及び (V) については、別に厚生労働大臣が定める期間までの間算定できる。

○ 当日の状況により入浴を見合わせた場合は、訪問入浴費は請求できない。	実際に入浴を行った場合には算定できない。ただし、利用者の希望により清拭、部分浴を実施した場合には、所定単位数に 70 / 100 を乗じて得た単位数を請求できる。
○ 居宅要介護者であっても、利用者が以下のサービスを受けている場合は（介護予防） 訪問入浴費は算定できない。	利用者が短期入所生活介護、短期入所療養介護若しくは特定施設入居者生活介護又は小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護若しくは複合型サービスを受けている間は、訪問入浴介護費は、算定期間中に算定され算定できない。
○ 居宅算定基準	

### 【他の居宅サービスとの給付調整】

○ 居宅要介護者であっても、利用者が以下のサービスを受けている場合は（介護予防） 訪問入浴費は算定できない。	利用者が短期入所生活介護、短期入所療養介護若しくは特定施設入居者生活介護又は小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護若しくは複合型サービスを受けている間は、訪問入浴介護費は、算定期間中に算定され算定できない。
○ 同一時間帯に他の訪問サービスを利用する場合の取扱い	

○ 同一時間帯にひとつの訪問サービスが原則であるが、利用者の心身の状況や介護の内容に応じて、必要があると認めらる場合に限り、同一時間帯に以下の組み合わせの訪問サービスをそろぞれ算定できる。
・ 訪問介護+訪問看護 ※ 訪問介護+訪問入浴、訪問看護+訪問入浴は認められない。

<p>○指定訪問入浴介護事業所と同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物若しくは事業所と同一の建物(以下「同一敷地内建物等」という。)等に居住する利用者に対する取扱い、</p> <p>① 同一の敷地内建物等の定義 「同一の敷地内建物等」とは、当該指定訪問入浴介護事業所と構造上又は外形上、一体的な建物及び同一敷地内並びに隣接する敷地(当該指定訪問入浴介護事業所と建築物が道路等を挟んで設置している場合を含む。)にある建築物のうち効率的なサービス提供が可能なものを指すものである。具体的には、一体化的な建物として、当該建物の1階部分に指定訪問入浴介護事業所がある場合や当該建物と渡り廊下でつながっている場合など、同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物として、同一敷地内にある別棟の建築物や幅員の狭い道路を挟んで隣接する場合などが該当するものであること。</p> <p>② 同一の建物に20人以上居住する建物(同一敷地内建物等を除く。)の定義 イ 「当該指定訪問入浴介護事業所における利用者が同一建物に20人以上居住する建物」とは、①に該当するもの以外の建築物を指すものであり、当該建築物に当該指定訪問入浴介護事業所の利用者が20人以上居住する場合に該当し、同一敷地内にある別棟の建物や道路を挟んで隣接する建物の利用者数を合算するものではない。</p>	<p>ロ この場合の利用者数は、1月間(毎月)の利用者数の平均を用いる。この場合、1月間の利用者の数の平均は、当該月における1日ごとの該当する建物に居住する利用者の合計を、当該月の日数で除して得た値とする。この平均利用者数の算定に当たっては、小数点以下を切り捨てるものとする。また、当該指定訪問入浴介護事業所が、第一号訪問事業(指定訪問入浴介護に相当するものとして市町村が定めるもの)の限り、以下同じ。)と一体的な運営をしている場合、第一号訪問事業の利用者を含めて計算すること。</p> <p>③ 当該減算は、指定訪問入浴介護事業所と建築物の位置関係により、効率的なサービス提供が可能であることを適切に評価する趣旨であることにより、本減算の適用については、位置関係のみをもって判断することがないよう留意すること。具体的には、次のような場合を一例として、サービス提供の効率化につながらない場合には、減算を適用すべきではないこと。 (同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物に該当しないものの例) ・同一敷地であっても、広大な敷地や複数の建物が点在する場合 ・隣接する敷地であっても、道路や河川などに敷地が隔てられており、横断するために迂回しなければならない場合</p> <p>④ ①及び②のいずれの場合においても、同一の建物について、当該建築物の管理、運営法人が当該指定訪問入浴介護事業所の指定訪問入浴介護事業者と異なる場合であっても該当するものであること。</p> <p>⑤ 同一敷地内建物等に50人以上居住する建物の定義 イ 同一敷地内建物等のうち、当該同一敷地内建物等における当該指定訪問入浴介護事業者の利用者が50人以上居住する建物の利用者全員に適用されるものである。</p> <p>ロ この場合の利用者数は、1月間(毎月)の利用者数の平均を用いる。この場合、1月間の利用者の数の平均は、当該月における1日ごとの該当する建物に居住する利用者の合計を、当該月の日数で除して得た値とする。</p>
---	---

居宅算定基準留意事項
<p>【Q】同一利用者が同一時間帯に訪問介護と訪問介護を利用できるか。</p> <p>【A】利用者は同一時間帯にひとつの訪問看護サービスを利用することを原則としている。ただし、例えば、家庭の浴槽で全身入浴の介助をする場合など、訪問介護と訪問看護、又は訪問介護と訪問リハビリテーションの場合は、同一利用者が同一時間帯に利用する場合は、利用者の心身の状況や介護の内容に応じて、同一時間帯に利用することが介護のために必要があると認められる場合に限り、それぞれのサービスについてそれぞれの所定単位数が算定される。</p> <p>訪問入浴介護は看護職員1人と介護職員2人の3人体制による入浴介助を基本としており、当該訪問入浴介護従業者と他の訪問介護員等が同一時間帯に同一利用者に対して入浴その他の介助を行った場合には別に訪問介護費を算定できない。</p> <p>介護報酬に係るQ &amp; A (Vol. 2)について(平成15年6月30日)</p>
<p>【事業所と同一の敷地内又は隣接する敷地内の建物若しくは事業所と同一の建物(「同一敷地内建物等」)に居住する利用者に対する訪問入浴介護減算】</p>
<p>○ 事業所と同一の敷地内又は隣接する敷地内の建物若しくは事業所と同一の建物(以下「同一敷地内建物等」という。)に居住する利用者(指定訪問入浴介護事業所における1月当たりの利用者が同一敷地内建物等に50人以上居住する建物に居住する利用者を除く。)に対し、指定訪問入浴介護を行った場合は、所定単位数の90%を算定する。</p> <p>○ 事業所における1月当たりの利用者が同一の建物に20人以上居住する建物(同一敷地内建物等を除く。)に居住する利用者に対し、指定訪問入浴介護を行った場合は、所定単位数の90%を算定する。</p> <p>○ 指定訪問入浴介護事業所における1月あたりの利用者が同一敷地内建物等に50人以上居住する利用者に対する訪問入浴介護を行った場合は、所定単位の85%を算定する。</p>

【Q】月の途中に、集合住宅減算の適用を受けた建物に入居した又は当該建物から退居した場合、月の全てのサービス提供部分が減算の対象となるのか。

【A】集合住宅減算については、利用者が減算対象となる建物に入居した日から退居した日までの間に受けたサービスについてのみ減算の対象となる。

月の定額報酬であるサービスのうち、介護予防問介護費、夜間対応型訪問介護費（Ⅱ）及び定期巡回・施設対応型訪問介護看護費については、利用者が減算対象となる建物に居住する月があるサービスに係る報酬（日割り計算が行われる場合は日割り後の額）について減算の対象となる。

なお、夜間対応型訪問介護費（Ⅰ）の基本夜間対応型訪問介護費については減算の対象とならない。また、「介護予防」小規模多機能型居宅介護費及び看護小規模多機能型居宅介護費については利用者の居所に応じた基本報酬を算定する。

※ 平成21年度報酬改定 Q&A (vol. 1) (平成21年3月16日) 訪問系サービス関係共通事項の問1は削除する。

【Q】集合住宅減算について、「同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物」について減算を適用すべきではないこと」とされているが、具体的にはどのような範囲を想定しているのか。

【A】集合住宅減算は、訪問系サービス（住宅療養管理指導を除く）について、例えば、集合住宅の1階部分に事業所がある場合など、事業所と同一建物に居住する利用者を訪問する場合は、地域に点在する利用者を訪問する場合と比べて、移動等の労力（移動時間）が軽減されることから、このことを適正に評価するために行うものである。

従来の仕組みでは、事業所と集合住宅（養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に限る。以下同じ。）が一体的な建築物に限り減算対象としていたところである。

今般の見直しでは、事業所と同一建物の利用者を訪問する場合と同様の移動時間により訪問できるものについては同様に評価することとし、「同一敷地内にある別棟の集合住宅」、「隣接する敷地にある集合住宅」、「道路等を挟んで隣接する敷地にある集合住宅」のうち、事業所と同一建物の利用者を訪問する場合と同様に移動時間が軽減されるものについては、新たに、減算対象とすることとしたものである。

このようなことから、例えば、以下のケースのように、事業所と同一建物の利用者を訪問する場合は移動時間が明らかに異なるものについては、減算対象とはならないものと考えている。

- ・広大な敷地に複数の建物が点在するもの（例えば、UR（独立行政法人都市再生機構）などの大規模団地や、敷地に沿つて複数のバス停留所があるような規模の敷地）
- ・幹線道路や河川などにより敷地が隔てられており、訪問するため迂回しなければならないもの

※ 平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (vol. 1)

【Q】「同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物」に該当するもの以外の集合住宅に居住する利用者に対し訪問する場合、利用者が1月あたり20人以上の場合は減算の対象となるが、算定月の前の実績で減算の有無を判断することとなるのか。

【A】算定月の実績で判断することとなる。

平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (vol. 1)

【Q】「同一建物に居住する利用者が1月あたり20人以上である場合の利用者数」とは、どのような者の数を指すのか。

【A】この場合の利用者数とは、当該指定訪問介護事業所とサービス提供契約のある利用者のうち、該当する建物に居住する者の数をいう。（サービス提供契約はあるが、当該月において、訪問介護費の算定がなかった者を除く。）

平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (vol. 1)

【Q】集合住宅減算として、①指定訪問介護事業所と同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物の利用者、②指定訪問介護事業所の利用者が20人以上居住する建物の利用者について減算となるが、例えば、当該指定訪問介護事業所と同一建物に20人以上の利用者がいる場合、①及び②のいずれの要件にも該当するものとして、減算割合は△20%となるのか。

【A】集合住宅減算は、①指定訪問介護事業所と同一の敷地内若しくは隣接する敷地内の建物（養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に限る。）の利用者又は②①以外の建物であって、当該指定訪問介護事業所における利用者が同一建物（建物の定義は①と同じ。）に20人以上居住する建物の利用者について減算となるものであり、①と②は重複しないため、減算割合は△10%である。

平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (vol. 1)

【Q】集合住宅減算について、サービス提供事業所と建物を運営する法人がそれ異なる法人である場合にはどのような取扱いとなるのか。

【A】サービス提供事業所と建物を運営する法人が異なる場合も減算対象となる。

平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (vol. 1)

【サービス提供体制強化加算の取り扱い】

○別に厚生労働大臣が定める基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た指定訪問入浴介護事業所が、利用者に対し、指定訪問入浴介護を行った場合は、1回につき所定単位数を加算する。

※ 別に厚生労働大臣が定める基準の内容は次のとおり。  
訪問入浴介護費におけるサービス提供体制強化加算の基準  
イ サービス提供体制強化加算(1)イ 次に掲げる基準のいずれにも適合すること。  
(1) 指定訪問入浴介護事業所（指定居宅サービス等基準第45条第1項に規定する指定訪問

八浴介護事業所をいう。以下同じ)全ての訪問入浴介護従業者(指定居宅サービス等基準第四十五条第一項に規定する訪問入浴介護従業者をいう。以下同じ。)に対し、訪問入浴介護従業者ごとに研修計画を作成し、当該計画に従い、研修(外部における研修を含む。)を実施又は実施を予定していること。

②利用者に関する情報若しくはサービス提供に当たっての留意事項の伝達又は当該指定訪問八浴介護事業所における訪問入浴介護従業者の技術指導を目的とした会議を定期的に開催すること。

(3) 当該指定訪問入浴介護事業所の全ての訪問入浴介護従業者に対し、健康診断等を定期的に実施すること。

(4) 当該指定訪問入浴介護事業所の介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合が 100 分の 4 以上又は介護福祉士、実務研修修了者及び介護職員基礎研修課程修了者の占める割合が 100 分の 6 以上であること。

ロ サービス供体強化加算(1)口

(1) (1)から(3)までに掲げる基準のいずれにも適合すること。

(2) 当該指定訪問入浴介護事業所の介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合が 100 分の 3 以上又は介護福祉士、実務研修修了者及び介護職員基礎研修課程修了者の占める割合が 100 分の 5 以上であること。

準基算字居

廿二、ジコ根糸(生糸)化織の各篇定要件については、次の如きに上て

- ① 研修について 訪問入浴介護従業者ごとの「研修計画」については、当該事業所におけるサービス従事者の質質向上のための研修内容の全体像と当該研修実施のための勤務体制の確保を定めるとともに、訪問入浴介護従業者について個別具体的な研修の目標、内容、研修期間、実施時期等を定めた計画を策定しなければならない。

② 会議の開催について

「利用者に関する情報告し」はサービス提供に当たつての留意事項に係る伝達又は当該指定訪問入浴介護事業所における訪問入浴介護従業者の技術指導を目的とした会議」とは、当該事業所においてサービス提供に当たる訪問入浴介護従業者のすべてが参加するものでなければならない。なお、実施に当たっては、全員が一堂に会して開催する必要ではなく、いくつかのグループ別に分かれて開催することで差支えない。会議の開催状況については、その概要を記録しなければならない。なお、「定期的」とは、おおむね1月に1回以上開催されている必要がある。

同号(2) (2)の「利用者に関する情報告し」はサービス提供に当たつての留意事項」とは、少

・利用者のADLや意欲

#### ・家族を含む環境

### ・前回のサービス提供時の状況

・その他サービス提供に当たつて

③ 健康診断等について(同号イ)(3)の健康診断等については、労働安全衛生法により定期的に実施するが、この義務付けられた「當時使用する労働者」に該当しない訪問入浴介護従業者も含めて、

少なくとも 1 年以内ごとに 1 回、事業主の費用負担により実施しなければならない。新たに加算を算定しようとする場合には、当該健康診断等が 1 年以内に実施されることが計画されていることをもつてりるものとする。

④ 職員の割合の算出に当たっては、常勤換算方法により算出した前年度（3 月を除く。）の平均を用いることとする。ただし、前年度の実績が 6 月に満たない事業所（新たに事業を開始し、又は再開した事業所を含む。）については、届出日の属する月の前 3 月について、常勤換算方法により算出した平均を用いることとする。（したがって、新たに事業を開始し、又は再開した事業者についてでは、4 月以降届出が可能となるものであること。）

なお、介護福祉士又は実務者研修修了者若しくは介護職員基礎研修課程修了者については、各月の前月の末日時点で資格を取得している又は研修の課程を修了している者とすること。

⑤ 前号にださる書の場合にあっては、届出を行った月以降においても、直近 3 月間の職員の割合につき、毎月継続的に所定の割合を維持しなければならない。なお、その割合については、毎月記録するものとし、所定の割合を下回った場合については、直ちに第一の 5 の届出を提出しなければならない。

⑥ 同一の事業所において介護予防訪問入浴介護を一体的に行うこととする。

居字算定基準留意事項

Q1 特定事業所加算及びサービス提供体制強化加算の要件のうち、計画的な研修の実施に係る要件の留意事項を示されたい。

A1 訪問介護員等（訪問入浴介護従業者等を含む。以下問3及び問4において同じ。）ごとに研

修習回を実現していることにこじっくりながら、ヨコ助町介護員等の技能や経験に応じた適切な期間を設定することとされたい。また、この訪問介護員等ごとの計画についても、全体像に加えて、職責、経験年数、勤続年数、所有資格及び本人の意向等に応じ、職員をグループ分けして作成することも差し支えない。

Q1 サービス提供体制強化加算の新区分の取得に当たって、職員の割合については、これまでと同様に、1年以上の運営実績がある場合、常勤換算方法により算出した前年度の平均（3ヶ月分を除く。）をもって、運営実績が6月に満たない事業所（新たに事業を開始した事業所又は事業を再開した事業所）の場合は、4月目以降に、前3ヶ月分の実績をもって取得可能となるということです。

A1 貴見のとおり。なお、これまでと同じ様に、運営実績が6月に満たない場合の届出にあつては、届出を行った月以降においても、毎月所定の割合を維持しなければならず、その割合について毎日計算する必要がある。

亞述 22 年度今譯釋文(二) 附錄 3

本地指導員自主點檢報告（訪問人客介護·介護予防訪問人客介護）

自主点播观看(节目入浴介面·介面字肪肪固入浴介面)

【Q】サービス提供体制強化加算（Ⅰ）とサービス提供体制強化加算（Ⅰ）ロは同時に取得することは可能か。不可である場合は、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イを取得していた事業所が、実地指導等によって、介護福祉士の割合が60%を下回っていたことが判明した場合は、全額返還となるのか。

【A】サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イとサービス提供体制強化加算（Ⅰ）ロを同時に取得することはできない。  
また、実地指導等によって、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イの算定要件を満たさないことが判明した場合、都道府県知事等は、支給された加算の一部又は全部をを返還させることができることが可能となつている。  
なお、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イの算定要件を満たしていないが、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）ロの算定要件を満たしている場合には、後者の加算を取得するための届出が可能であり、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イの返還等と併せて、後者の加算を取得するための届出を行うことが可能である。

主点檢圖書(防圖入浴介護·介護手助防圖入浴介護)

主点檢圖書(防固人客介護·介護予防固人客介護)

自主点播调看(助阅入浴分题·分题子助阅入浴分题)

主点檢圖書(助閱人名分譜·分譜子助閱人名分譜)

自主点播调看(防调入资分看·分看子防调入资分看)

自主点播调音(防固入浴分蘖·分蘖子防固固入浴分蘖)

指定期限		基準の内容(指導項目)		確認事項		個別 加算
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅳ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅲ)	努力・努力	
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅲ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	努力・努力	
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	

自主点検調査(訪問人捺印欄・介護手段訪問人捺印欄)

指定期限		基準の内容(指導項目)		確認事項		個別 加算
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	
回上	回上	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	努力・努力	

自主点検調査(訪問人捺印欄・介護手段訪問人捺印欄)



17

介護給付費算定口添子体制等状況一覧表（居宅介護・施設介護）

介護給付費算定表(標準)と併用等状況一覧表(居宅介護支援・施設介護)

(別紙1)

九、證據資料與事實認定書及法律適用書狀一覽表（附表二-乙六：證據九-乙六）

(一) 算法

174(5)

卷之三十一

5 / 15

1

1

年 度	主 題	日 程	地 點	主 講 者	内 容
2018年度	精神科医療の現状と課題	1月26日(火) 13時30分～15時30分	東京会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	2月22日(木) 13時30分～15時30分	福岡会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	3月22日(木) 13時30分～15時30分	大阪会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	4月26日(火) 13時30分～15時30分	名古屋会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	5月22日(木) 13時30分～15時30分	横浜会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	6月26日(火) 13時30分～15時30分	京都会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	7月22日(木) 13時30分～15時30分	福岡会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	8月26日(火) 13時30分～15時30分	大阪会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	9月22日(木) 13時30分～15時30分	名古屋会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	10月26日(火) 13時30分～15時30分	横浜会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	11月22日(木) 13時30分～15時30分	京都会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題
2018年度	精神科医療の現状と課題	12月26日(火) 13時30分～15時30分	福岡会場	小林昌也	精神科医療の現状と課題

223

(別紙1)

个数据计算定口保子体制等状况一算表(见另文·施密特一人)

家庭成员基本信息									
家庭成员基本信息									
姓名	性别	年龄	民族	文化程度	工作单位	联系方式	家庭住址	家庭成员关系	备注
张三	男	35	汉族	高中	无业	13800000000	北京市朝阳区	父亲	
李四	女	32	汉族	本科	无业	13900000000	北京市朝阳区	母亲	
王五	男	15	汉族	初中	无业	13600000000	北京市朝阳区	儿子	
赵六	女	12	汉族	小学	无业	13700000000	北京市朝阳区	女儿	
家庭成员健康状况									
家庭成员健康状况									
姓名	性别	年龄	民族	健康状况	主要疾病	治疗情况	治疗机构	治疗时间	备注
张三	男	35	汉族	良好	无	无	无	无	
李四	女	32	汉族	良好	无	无	无	无	
王五	男	15	汉族	一般	感冒	已治愈	社区卫生服务中心	2023-01-01	
赵六	女	12	汉族	一般	感冒	已治愈	社区卫生服务中心	2023-01-01	
家庭成员经济状况									
家庭成员经济状况									
姓名	性别	年龄	民族	收入来源	收入金额	支出金额	结余金额	备注	
张三	男	35	汉族	工资收入	5000	1500	3500	无	
李四	女	32	汉族	工资收入	4500	1400	3100	无	
王五	男	15	汉族	零用钱	500	100	400	无	
赵六	女	12	汉族	零用钱	500	100	400	无	
家庭成员教育情况									
家庭成员教育情况									
姓名	性别	年龄	民族	受教育程度	就读学校	学习科目	成绩	备注	
张三	男	35	汉族	大学本科	北京大学	计算机科学	95	无	
李四	女	32	汉族	大学本科	清华大学	计算机科学	92	无	
王五	男	15	汉族	高中	北京中学	数学	90	无	
赵六	女	12	汉族	初中	北京中学	数学	88	无	
家庭成员职业情况									
家庭成员职业情况									
姓名	性别	年龄	民族	职业类别	工作单位	工作性质	工作时间	备注	
张三	男	35	汉族	企业职员	阿里巴巴	软件开发	2023-01-01	无	
李四	女	32	汉族	企业职员	阿里巴巴	软件开发	2023-01-01	无	
王五	男	15	汉族	学生	无	无	无	无	
赵六	女	12	汉族	学生	无	无	无	无	
家庭成员婚姻情况									
家庭成员婚姻情况									
姓名	性别	年龄	民族	婚姻状况	配偶姓名	配偶工作	配偶年龄	备注	
张三	男	35	汉族	已婚	李四	无	32	无	
李四	女	32	汉族	已婚	张三	无	35	无	
王五	男	15	汉族	未婚	无	无	无	无	
赵六	女	12	汉族	未婚	无	无	无	无	
家庭成员居住情况									
家庭成员居住情况									
姓名	性别	年龄	民族	居住地	房屋类型	居住面积	居住时间	备注	
张三	男	35	汉族	北京	商品房	120平米	2023-01-01	无	
李四	女	32	汉族	北京	商品房	120平米	2023-01-01	无	
王五	男	15	汉族	北京	商品房	60平米	2023-01-01	无	
赵六	女	12	汉族	北京	商品房	60平米	2023-01-01	无	
家庭成员社会保障情况									
家庭成员社会保障情况									
姓名	性别	年龄	民族	社会保障类别	享受待遇	享受时间	备注		
张三	男	35	汉族	养老保险	基础养老金+个人账户养老金	2023-01-01	无	无	无
李四	女	32	汉族	养老保险	基础养老金+个人账户养老金	2023-01-01	无	无	无
王五	男	15	汉族	医疗保险	门诊统筹+住院报销	2023-01-01	无	无	无
赵六	女	12	汉族	医疗保险	门诊统筹+住院报销	2023-01-01	无	无	无
家庭成员其他情况									
家庭成员其他情况									
姓名	性别	年龄	民族	其他情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员特殊需求									
家庭成员特殊需求									
姓名	性别	年龄	民族	特殊需求	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员社会评价									
家庭成员社会评价									
姓名	性别	年龄	民族	社会评价	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员法律情况									
家庭成员法律情况									
姓名	性别	年龄	民族	法律情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员心理情况									
家庭成员心理情况									
姓名	性别	年龄	民族	心理情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员精神情况									
家庭成员精神情况									
姓名	性别	年龄	民族	精神情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员行为情况									
家庭成员行为情况									
姓名	性别	年龄	民族	行为情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员情绪情况									
家庭成员情绪情况									
姓名	性别	年龄	民族	情绪情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员睡眠情况									
家庭成员睡眠情况									
姓名	性别	年龄	民族	睡眠情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员饮食情况									
家庭成员饮食情况									
姓名	性别	年龄	民族	饮食情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员运动情况									
家庭成员运动情况									
姓名	性别	年龄	民族	运动情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员娱乐情况									
家庭成员娱乐情况									
姓名	性别	年龄	民族	娱乐情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员兴趣情况									
家庭成员兴趣情况									
姓名	性别	年龄	民族	兴趣情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员性格情况									
家庭成员性格情况									
姓名	性别	年龄	民族	性格情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六	女	12	汉族	无	无	无	无	无	无
家庭成员情绪稳定性									
家庭成员情绪稳定性									
姓名	性别	年龄	民族	情绪稳定性	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况	具体情况
张三	男	35	汉族	无	无	无	无	无	无
李四	女	32	汉族	无	无	无	无	无	无
王五	男	15	汉族	无	无	无	无	无	无
赵六</td									

介護給付費算定口添子体制等状況一覧表（居宅介護・施設介護）

(別紙1)

介護給付費算定表の算定基準一覧表（居宅介護支援・施設介護）

(列綱 1)

介錯結構與算定句法範例（單音節詞與複音節詞）

一个数据科学家的深度学习进阶之路 - 第一章 - 算法基础 (尾声) · 深度学习 (卷一)

(列綱 1)

↑ 誰給付費算定（保育・休制等扶況一覽表（居宅介護・施設介護）

(別紙1)

(別紙1)

并報給社會單位，以便為控制等級情況一覽表（舊名共二乙人：總數共二乙人）

6-3-61 / 40

1

卷之三

別編 1

サービス種類	届出の種類	添付書類
訪問人浴介護 特別地域加算	【添付書類不要】	
中山間地域等における小規模事業所加算	・中山間地域等における小規模事業所加算に係る算出表（参考様式3）	
サービス提供体制強化加算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供体制強化加算に関する届出書（別紙1-2）</li> <li>・従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表（別紙7-1）</li> <li>※届出日前一月のもの</li> <li>・人材要件に係る算出表（参考様式4）</li> </ul>	
介護職員処遇改善加算	※訪問介護の「介護職員処遇改善加算」に関する添付書類をご参照ください。	